

常陸太田市過疎地域持続的発展計画(案)に関する
パブリックコメント結果と意見への回答

令和8年2月

常陸太田市 企画課

パブリックコメントの実施概要

○「常陸太田市過疎地域持続的発展計画」の変更にあたり、以下のとおりパブリックコメントを実施しました。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

資料の公表・意見の募集期間	令和8年1月22日(木)～令和8年2月4日(水)
公開資料	常陸太田市過疎地域持続的発展計画(案)
資料の公表場所	企画課／広報広聴課／各支所／市ホームページ
提出方法	郵送、ファクシミリ、メール、持参
募集結果	3名の方から合計3件のご意見を頂きました。

意見と回答

意見	回答
<p>「カレーライスで街おこし」を提案致します 遠藤 賢司 氏 1947年 ひたちなか(勝田)市出身 太田一高卒業(在籍中からギターを弾いていた) 2017年没(70歳) 代表曲「カレーライス」 シンガーソングライターの草分け的な存在。 今でも、NHKのラジオ深夜番組において、特集を組まれている方です。 本人のカレー好きが高じて1974年渋谷の道玄坂にカレー店を出店。 ライスを三角錐を持った「ピラミッドカレー」やライス部分がハート形をした「ラブラブカレー」が好評だったとか？</p> <p>過疎地域ごとに特色のあるカレーライスを創作して街おこしに活用することを提案致します。</p> <ul style="list-style-type: none">・納豆カレー・常陸秋そばカレー・巨峰カレー・梨カレー・凍みこんにゃくカレー・里美ヨーグルトカレー・カレーおかき・けんちんカレー・銀杏カレー <p>等々 地域の食材と人材(お店や社協給食サービスチーム)から創作を募り、カレーコンテストやカレー祭りのイベントを開催。</p> <p>各過疎地域のカレー(〇〇公民館カレー・〇〇コミュニティカレー)を提供。外からの集客により各地域の持続的発展を図ります。</p>	<p>3 産業の振興において、地場産の素材等を活用し、更なる6次産業化を図る旨記載しております。今回提案頂いた内容については、その具体案として参考にさせていただきます。</p>

2	<p>地域高齢化に伴う町内会等の運営について</p> <p>地域の高齢化に伴い、町内会等の運営も見直すべきかと思います。現状会場等が遠い場合←年寄りには徒歩では厳しい場合、曜日などで都合がつかない場合など参加が難しい場合も見受けられます。幅広い意見を集約するためには回覧板や郵送又はネットなどで広く地域の意見を集約する方法に切り替える時期に来ていると思います。そうでないと意見は偏ってしまいます。←仰天するような人が選ばれる場合もあり、。それぞれの世代の公平性を保つためにも是非ご検討をお願いいたします。</p>	<p>10 集落の整備において、町会等が行う地域の活性化に向けた自主的・自発的活動を支援する旨記載しております。今回頂いた意見については、町会活動がより円滑に行われるにあたり必要な内容であると考えますので、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
3	<p>ここで生きる、ここで死ぬ 安心して暮らしていくために</p> <p>私たち夫婦は、23 年前に「過疎地」ということで、この地に移住してきました。なんとか日本の農村および農業が続いていけるように役にたてないかとの思いです。有機農業で野菜・米・お茶などを生産し、関東近県の個人に野菜をお届けして生計を立ててきました。地域の方々の協力・支えがなければできないことです。無我夢中で農業をやってきて、後期高齢者になり、だんだんと不安がつってきました。安心して豊かな気持ちで暮らし、ここで死を迎えたいと思っています。「老人でも、一人でも安心して暮らせる常陸太田市」であってほしいのです。そのために声を出そうと決心しました。</p> <p>過疎地の抱える問題</p> <p>多くの過疎地で同じ問題を抱えています。高齢化・子供は街に住んで戻ってこない・体力がなくなり共同作業ができない・田畑や山が荒れる。問題は山積みです。なんとか急いで手を打たないと消滅するだけです。ただ希望はこの地域に新たに入ってくる若者が多いことです。有機農業をする仲間も増えました。そのほかの職種の人も入ってきています。新たな動きが人々を引き寄せるのだと思います。村人も新たな移住者もずっとここに住み続けてもらうためには、自分たちで安心して暮らせる場を作れるのだという希望。この人たちの力を存分に活かしてもらうためにも行動が必要です。</p>	<p>安心して暮らせることは、この地域へ住み続けるにあたり非常に重要な事項であり、過疎地域の持続的な発展には必要不可欠であると考えます。</p> <p>今回頂いたご意見は、各分野における課題に対する、具体的な対策案として参考にさせていただきます。</p>

暮らしている人の不安を取り除く小さなアイデア

ここで暮らしている人は、屋敷をどうするか・田畑山林をどうするか・家の中の「物」をどうするか・墓をどうするかと頭を抱えています。

- ①空き家バンクへの登録。移住者に使ってもらい、管理してもらい。
- ②一人で大きな屋敷に住みたくない人用にシェアハウス。移住者も使えるように。
- ③住民の家にある「ゴミ」は移住者にとって「宝物」です。これを受け渡すガレージセール又は不要なものの情報を集め、移住者に伝える「不用品バンク」特に農業をいたい移住者にとって農機具・ハウスなど重要です。
- ④墓じまいしたい人に樹木葬が可能な墓地を用意。
埼玉県越生町は町営墓地に樹木葬が可能な所を準備した。
神戸市 ひよどりごえ森林公園に森林葬墓地の計画。
NPO 法人 at FOREST は大阪府能勢妙山 日蓮宗霊場と千葉県南房総市真野寺に「循環葬」ができる所を運営。
- ⑤生前・齟齬の事務手続きの簡略化とサービスの充実
事務手続きの煩雑さで悲鳴を上げる現実があります。これを少しでも軽減し誰でも簡単に時間がかからずに済ませる必要があります。
以下、改革を進めた行政です。
神奈川県大和市 「おひとりさま政策課」
神奈川県横須賀市 終活情報登録伝達事業
三重県松坂市
大分県別府市
- ⑥新規就農・新規就林者を増やす
田畑山林の荒廃を防ぐためにも若い農林業を目指す移住者が必要です。今、里美には 7 家族が有機農業をしています。仲間がいることは、新たな人を引き付けることになります。技術を学ぶことができます。情報交換もできます。
- ⑦外の人の力を借りる
高齢化が進み、集落の水路整備や草刈りの共同作業が難しくなっています。田畑が持続的に使えるようにするためには、誰かが作業をする必要があります。また竹やぶが増え、手を入れることもできません。そこで外の人とつながり、

作業にかかわって、農村の現状を知ってもらおうと同時に農村のすばらしさを知ってもらいたいと思います。竹やぶを雑木林にして美しい風景を作り出すことを一緒にやりたいと思います。

壁

動き出すためにはいろいろな困難があることはわかります。変えられない条令・やる気・前例がないという否定の気持ち・暮らしている人々の気持ちなど。どこの現場でも頭を悩ませていると思います。それでも改善を図っている所もあります。少しずつでも改善して動き出せば「安心して暮らせる常陸太田市」に近づくのではないのでしょうか。